

広島県では、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動条例」を制定し、
県民みんなで「災害死ゼロ」を目指す取組を進めています。

平成30年度土砂災害防止 県民の集い

土砂災害から命を守るためには、普段から土砂災害について知り、自分の住む地域の危険性を知ること、そして、いざという時は土砂災害の危険が迫っていることをいち早く察知し、自ら判断して、適切に行動することが大切です。

集いに参加して、土砂災害から命を守ることを考えてみませんか。



写真：平成29年度 県民の集い(呉市)



基調講演

- 「最近の土砂災害対策の取組」
〰 浦 真(国土交通省水管理・国土保全局砂防部 保全課長)
- 「8.20土砂災害と平成29年九州北部豪雨災害から学ぶ」
〰 海堀 正博(広島大学 大学院総合科学研究科 教授)

事例報告

- 「残そう 伝えよう 僕らの願い」
〰 広島市立三入小学校 6年生のみなさん
- 「災害に強いすみやすいまちを目指して」
〰 菅原 辰幸(梅林学区復興まちづくり協議会会長)
- 「八木・緑井地区における緊急事業の進捗状況について」
〰 末永 敦(国土交通省太田川河川事務所工務第二課長)
- 「8.20土砂災害の復旧・復興状況報告」
〰 平田 幸一郎(広島県西部建設事務所災害復旧チーム主査)
- 「平成26年広島豪雨災害を踏まえた防災・減災対策」
〰 河本 秀明(広島市危機管理室災害予防課長)

日時

5月30日(水)

13:30~16:30(開場12:00~)

場所

広島市
安佐南区民文化センター
(広島市安佐南区中筋一丁目22-17)

会場イベント

- 土砂災害伝承パネル展
〰 防災パネルや小中学生の絵画作文を展示します。
- 土石流3D体感シアター
〰 土石流が飛び出してきました！(立体メガネ着用)
- 土石流模型実験装置実演
〰 水と小石を使って実際に土石流を発生させます！
- 降雨体験機
〰 時間100ミリの雨が実際に体験できます！



※本イベント来場者用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

主催/広島県、広島市

共催/国土交通省中国地方整備局

協賛/(一社)中国建設弘済会、(一社)広島県土木協会

後援/広島県市長会、広島県町村会、砂防ボランティア広島県協会、公益財団法人広島県消防協会

(一社)全国治水砂防協会、公益社団法人土木学会中国支部、公益社団法人砂防学会中国四国支部、中国新聞社、

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送

問い合わせ先

広島県土木建築局砂防課 電話(082)513-3942

広島市下水道局河川防災課 電話(082)504-2377

入場
無料

「平成30年度土砂災害防止県民の集い」は継続学習制度(CPDプログラム)認定講習対象です

～平成30年度土砂災害防止県民の集い～ プログラム



日時：平成30年5月30日（水）開場 12：00

場所：広島市安佐南区民文化センター

1. 開会あいさつ

13：30～13：45

主催者：広島県知事，広島市長

共催者：国土交通省中国地方整備局副局長

2. 基調講演

13：50～14：05 浦 真（国土交通省水管理・国土保全局砂防部 保全課長）

「最近の土砂災害対策の取組」

14：10～14：40 海堀 正博（広島大学 大学院総合科学研究科 教授）

「8.20土砂災害と平成29年九州北部豪雨災害から学ぶ」

（休憩）

3. 事例報告

14：50～16：30

○ 「残そう 伝えよう 僕らの願い」

広島市立三入小学校 6年生のみなさん

○ 「災害に強いすみやすいまちを目指して」

菅原 辰幸（梅林学区復興まちづくり協議会 会長）

○ 「八木・緑井地区における緊急事業の進捗状況について」

末永 敦（国土交通省太田川河川事務所 工務第二課長）

○ 「8.20土砂災害の復旧・復興状況報告」

平田 幸一郎（広島県西部建設事務所 災害復旧チーム主査）

○ 「平成26年広島豪雨災害を踏まえた防災・減災対策」

河本 秀明（広島市危機管理室 災害予防課長）

4. 閉 会

会場イベント 12：30～16：00

土砂災害伝承パネル展

土砂災害に関するパネルの展示や、「土砂災害防止に関する絵画・作文」の広島県から全国入賞した作品や推薦した作品の展示を行っています。

土石流3D体感シアター

立体CGで、迫力のある土石流とそのメカニズムについて学ぶことができます！



降雨体験機

時間100ミリの雨が実際に体験できます！

土石流模型実験装置実演

実際に水と小石を使って土石流を発生させます！